

## 風しん 第5期 定期予防接種説明書

～接種に欠かせない情報です。必ずお読みください～

接種ワクチン	麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン) 0.5ml (生ワクチン)
接種回数	1回

### 風しん(三日はしか)とは？

風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。妊娠初期(妊娠20週頃まで)の妊婦が風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が生じる可能性が高くなります。

感染を防ぐ唯一の方法は、ワクチン接種です。

### 麻しん風しん混合ワクチンの効果と副反応

1回の接種で、接種を受けた人の95%以上に抗体を得られると言われています。

主な副反応は、発熱、発疹、接種部位の発赤・腫れ、じんましん、リンパ節の腫れ、関節痛、熱性けいれんなどが見られます。稀に生じる重い副反応として、アナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれん等があります。

### 予防接種を受けることができない場合

- ①明らかな発熱(37.5℃以上)がある場合
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④その他、医師が不適当な状態と判断した場合

上の①～④に当てはまらなくても医師が接種不適当と判断した時は、予防接種を受けることはできません。

### 予防接種後の注意事項

- ①接種後30分間は、医療機関で様子を観るか、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ②接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④当日は、激しい運動や過度の飲酒は避けましょう。
- ⑤接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は速やかに医師の診察を受けましょう。

### 他の予防接種との接種間隔

このワクチンを接種後、その他の生ワクチンを接種する場合のみ、27日以上の間隔をあける必要があります。

※麻しん風しん混合ワクチンは、生ワクチンです。

### 予防接種による健康被害救済制度について

○定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。制度の利用を申しこむときは、市健康管理センターにご相談ください。(制度を利用するためには、一定の条件があります)

※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

○期間を過ぎて接種をする場合は、任意接種(予防接種法に基づかない接種)として取扱われます。任意接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることになります。

長期療養を必要とする重い疾病等のため対象期間内に予防接種ができなかった場合、接種機会を確保する制度があります。事前申請が必要ですので、詳細については市健康管理センターまでお問い合わせください。

<お問合せ先> 福井市健康管理センター 電話 0776-28-1256